

ピノックが絶賛するドヴガンとの再共演と、
記念碑的公演と高く評価された《讚歌》に続くメンデルスゾーン第2弾



ピアノ piano
アレクサンドラ・ドヴガン
Alexandra Dovgan piano



指揮 conductor
トレヴァー・ピノック
Trevor Pinnock conductor

The 143rd Subscription Concert

- | | |
|-------------------------|---|
| ラヴェル
Ravel | クーランの墓 [ラヴェル生誕150周年記念]
Le Tombeau de Couperin [the sesquicentenary of Ravel's birth] |
| ベートーヴェン
Beethoven | ピアノ協奏曲第4番ト長調 op.58
Piano Concerto No. 4 in G major op. 58 |
| メンデルスゾーン
Mendelssohn | 交響曲第4番イ長調《イタリア》op.90, MWV N 16
Symphony in A major "Italian" op. 90, MWV N 16 |

© VolkovPhotoSu

© Tomoko Hidaki

日時・会場 2025年 7月 4日 金 開演19時 (開場18時30分)
19:00 on Friday, July 4th

5日 土 開演14時 (開場13時30分)
14:00 on Saturday, July 5th

日本製鉄
紀尾井ホール
NIPPON STEEL Kioi Hall

料(消費税込) 金
S席 8,800円 A席 7,800円 B席 5,800円
U29 A席 2,000円 U29 B席 1,500円

当日会場価格は各券種+500円となります(各種割引の対象外)

※料金は税込みです。本紙掲載の料金のほか、所定の手数料がかかります。手数料はお支払方法により異なります。

※各会員割引は各公演1会員様4枚までとなります。

※U29は公演当日に29歳以下の方を対象とする優待料金です。取扱いには紀尾井ホールウェブチケットのみで、枚数には制限があります。詳しくは紀尾井ホールウェブサイトをご覧ください。

発売日

2025年3月7日(金) 正午(12時)~

にっぽんせいとつ

[主催] 公益財団法人 日本製鉄文化財団

チケット申込み

紀尾井ホールウェブチケット
<https://kioihall.jp/tickets>

操作方法については、ヘルプデスク 0570-550372
(火~金 12時~16時)へお問合せください。
チケットぴあ <https://t.pia.jp> [Pコード:289-143]
イープラス <https://eplus.jp>

CNプレイガイド 0570-08-9999(10時~18時 年中無休)
<https://www.cnplayguide.com/>

※出演者・曲目は予告なく変更となる場合があります。
※小学生のご鑑賞には保護者(成人)のご同伴をお願いします。
※乳幼児等未就学の方のご同伴・ご入場はご遠慮ください。

※不測の事態で公演中止となる可能性がございます。その場合はウェブサイトにてお知らせいたします。公演中止の場合に限り、チケットご購入者に券面表示金額にて払戻いたします。

無料で招待席「紀尾井みらいシート」

小学生から高校生まで(公演日基準)とその保護者をご招待。詳しくは裏面をご覧ください。

[特別協賛]

三井不動産
MITSUI FUDOSAN

[協賛]

住友商事株式会社

MITSUI & CO.

三菱商事株式会社

紀尾井ホール室内管弦楽団 第143回定期演奏会

ピノックの首席指揮者第2期がスタートします。今回は日本製鉄紀尾井ホール改修前の最後となるため、このホールの唯一無二の
アコースティックを多くの方の耳と心に刻み付けていただけたよう、王道にして個性豊かなプログラムをご用意しました。ラヴェルの
軽妙と洗練、ベートーヴェンが楽想の馴染みややすさと実験的な手法(独奏ピアノによる弱音での開始、楽章ごとの編成の差異等)
を同時に成立させたピアノ協奏曲、そして陽光が燦々と降り注ぐような明るさとリズムの喜びに溢れたメンデルスゾーン。これらの
作品で、およそ30年にわたって熟成させてきた日本製鉄紀尾井ホールの音をじっくり味わっていただきます。なお、《イタリア》は
2023年の《讃歌》に続くピノックのメンデルスゾーン第2弾となります。ソリストは2022年以来2度目となるアレクサンドラ・ドヴ
ガン。ピノックが「今彼女の成長を聴き逃してはならない」と絶賛する才能です。



© Gerard Collett

指揮 トレヴァー・ピノック Trevor Pinnock conductor

1946年英国カンタベリー生まれ。奨学金を得て王立音楽院でオルガンを、さらにチェンバロも学び、チェンバロ奏者としてアカデミー室内管等で活動を開始。学生時代にはガリヤード・トリオを結成し、1966年に同トリオでロンドン・デビュー、1968年にはチェンバロ奏者としてソロ・デビューした。1972年にガリヤード・トリオを発展させ、ピリオド楽器オーケストラ「イングリッシュ・コンサート」を創設。当初7名だった同楽団はすぐに発展拡大し、世界的名声を獲得した。2003年まで30年間にわたって同楽団を率いた後、活動の幅を広げるため勇退、以降は指揮、独奏、室内楽や数々の教育プロジェクトなどで活躍している。特に指揮者としては1991～96年に首席指揮者を務めたオタワの国立芸術センター管弦楽団や2011～15年シーズンに首席客演指揮者だったモーツァルト管弦楽団をはじめ、ドイツ・カンマーフィル、ロス・フィル、ゲヴァントハウス管、コンセルトヘボウ管、フランス国立管、サンタ・チェチーリア管ほかに定期的に出演。2006年には自身の60歳の記念にヨーロッパ・ブランデンブルク・アンサンブルを創設。彼らと録音した《ブランデンブルク協奏曲》全曲のディスクは08年のグラモフォン・アワードに輝いた。2021年はボツダム室内アカデミーへの客演のほか、リトアニアのNžemė国際音楽祭でヘンデルの歌劇《アシスとガラテア》(ウェイク＝ウォーカー/カント演出)、22年はフランドル歌劇場でモーツァルトの歌劇《コジ・ファン・トゥツ》(ケースマイケル演出・振付)を指揮した。

2023/24シーズンは、これまでにスロヴェニア・フィル(メンデルスゾーン《讃歌》)、グラン・カナリア管(メンデルスゾーン《宗教改革》)、フランス国立管(ソリスト:ギル・シャム)、コンセルトヘボウ管(バッハ《ヨハネ受難曲》)、再びグラン・カナリア管(モーツァルト3大交響曲)、キッシンゲン夏音楽祭でモーツァルト管(ソリスト:ヤン・リシエツキ)などと共演。24年にはリトアニアの聖クリストフォロス管やオタワ国立芸術センター管弦楽団にも客演した。

また、2021年にはダニエル・ハーディングの後任として、イタリア・ピサの音楽祭「アニメ・ムンディ」(ジュゼッペ・シノーポリ創設)の音楽監督にも就任した。録音での最新作は、バッハの平均律クラヴィア曲集第2巻全曲(2021年録音)、トマス・エラー編曲の室内オーケストラ版 バッハ《パルティータ集》(2023年3月録音)、アリソン・バルサムとピノック・プレイヤーズとの『バロック・トランペット協奏曲集』(2024年1月録音)。

1992年大英帝国勲章CBE、1998年フランス芸術文化勲章オフィシエ受章。日本製鉄紀尾井ホールには1995年にイングリッシュ・コンサートを率いて初登場。さらに1999年および2001年にはレイチェル・ボッジャーやジョナサン・マンソンらとのアンサンブルで出演した。紀尾井ホール室内管弦楽団には2004年の第46回定期演奏会でデビューし、12年第86回、16年第104回に再登場、さらに15年の創立20周年記念特別演奏会と20年の創立25周年記念特別演奏会も指揮した。2022年4月より紀尾井ホール室内管弦楽団第3代首席指揮者に就任。



© ValikovPhotoSu

ピアノ アレクサンドラ・ドヴガン Alexandra Dovgan piano

2007年音楽家の家庭に生まれ、4歳からピアノを学び始めた。難関で知られるモスクワ音楽院附属の中央音楽学校に5歳で入学。著名な教師であるミラ・マルチェンコに師事。

2015年のピヤエルモサ・コンクール(メキシコ)をはじめ、2015年ウラル・プロコフィエフ国際コンクール、サフォノフ・ヤングピアニスト国際コンクール、全ロシア音楽タレントインターネット・コンクール、さらに2017年にはクライネフ国際ピアノコンクール、「アスタナ・ピアノ・パッション」国際ヤングピアニスト・コンクール、若い音楽家のための国際テレビコンクール「くみ割り人形」などで入賞。2018年にはまだ10歳で第2回若いピアニストのための「グランド・ピアノ国際コンクール」でグランプリを獲得した。

すでにヨーロッパの最も有名なコンサートホールにもデビューしており、2019年には早くもベルリンのフィルハーモニーとアムステルダム・コンセルトヘボウ、ザルツブルク音楽祭にもデビュー。

2020年秋以降にはパンデミックにもかかわらず、トレヴァー・ピノック指揮ザルツブルク・モーツァルト管弦楽団、大野和士指揮バルセロナ交響楽団やトン・コブマン指揮ストックホルム・フィル、グスターボ・ドゥダメル指揮マーラー室内管弦楽団らと共演した。22年上半期にはバレアレス諸島交響楽団との協奏曲演奏のほか、サンカルロ劇場、フェニーチェ劇場、グラナダ音楽舞踊祭、ルーレ・ピアノ音楽祭、ソルスベルク(ソル・ガベッタの音楽祭)、ラインガウ音楽祭、24年にはチューリヒ・トーンハレやヴェルビエ音楽祭、モンペリエ音楽祭、アニメ・ムンディ、パリ・シャンゼリゼ劇場、コロソ劇場などに招かれ、毎月3～5公演にも及ぶ精力的な活動を続けている。日本デビューは2022年9月、紀尾井ホール室内管弦楽団の第132定期演奏会でショパンのピアノ協奏曲第2番を演奏。現在スペイン在住。

日本製鉄紀尾井ホールにご支援いただいている企業および個人の方々です

紀尾井サポートシステム会員(五十音順「株式会社」等表記及び敬称略)	
《特別協賛会員》	住友商事/日鉄ソリューションズ/三井不動産/三井物産/三菱商事/三菱地所
《みやび会員》	伊藤忠商事/大島造船所/大林組/鹿島建設/商船三井/菅原/住友商事/Dr.かすみ永田町クリニック/日本郵船/丸紅/三井住友銀行/三井住友信託銀行/三井不動産/三井物産/三菱商事/三菱地所/スタルワン ほか匿名2社
《ひびき会員》	オカムラ/高砂熱学工業/竹中工務店/東京きらぼしフィナンシャルグループ/みずほ証券/山下設計
《みどり会員》	青鬼運送/赤坂維新號/今治造船/ヴェートル/エーケーディ/在原神冷システム/ザ・キャピトルホテル 東急/三協/清水建設/上智大学/西武リアルティソリューションズ/大成建設/千代田商事/テイスティング/東芝ライテック/永田音響設計/ニュー・オートニ/ハウス食品グループ本社/バナソニック/三菱UFJ銀行/三菱UFJ信託銀行/三菱UFJモルガン・スタンレー証券/ミュージジョン/明治座舞台/ヤマハサウンドシステム/ワークショップ21
《あおい会員》	青木陽介/浅沼雄二/浅見 恵/石崎智代/磯部治生/伊藤眞理子/上野真志/馬屋原貴行/大内裕子/大垣尚司/大久保なほ子/太田清史/大花謙一/小川 保/小倉 ヒロ・ミハエ/糟谷敏秀/片山國正/片山龍輔/加藤春恵/加藤優一/金井俊樹/神川典久/川口祥代/川島知恵/菊池恒雄/本谷 昭/楠野貞夫/栗山信子/河野紗妃/小坂部恵子/斎藤公善/坂詰貴司/坂根和子/佐野千紘/佐藤いづ子/潮崎通康/柴田雅美/清水 正/清水多美子/清水康子/白土英明/新角卓也/鈴木順一/鈴木 幸/鈴木 亮/高下謙老/高杉哲夫/田中進/陳 麗君/田頭亜理/戸田純也/中尾武彦/中塚一雄/中西達郎/中野洋子/中村健司/中村昌子/中山昌樹/野田清朗/藤村行俊/冬木寛義/北條哲也/堀川将史/牧本恵美子/松枝 力/松尾芳樹/真野美千代/丸井正樹/水口美穂/雲輪永世/宮島正次/宮田直子/宮武悦子/宮原 薫/宮本信幸/ミューズ M/村上喜代次/村上敏子/持留宗一郎/茂手木優輝/八木一夫/八木晶子/矢田部靖子/山内寿実/山口 彰/山口 聡/横手 聡/吉田光亮/吉見 享/渡邊一夫 ほか匿名44名 計247口

(2025年2月1日現在)

日本製鉄文化財団 日本製鉄紀尾井ホールでは、皆さまからのご支援をお待ちしております。

<紀尾井サポートシステム(寄附会員制度)>はこちら ⇒



無料
ご招待席

紀尾井みらいシート

日本製鉄文化財団では若い世代の方に生演奏の感動を体験いただくための「紀尾井みらいシート」を設けています。小学生から高校生の皆さんを対象に主催公演にご招待します。

対象：小学生から高校生まで(公演日基準)とその保護者(※)
※小学生は保護者同伴必須、
中学生は保護者の承諾で本人単独での応募・来場可。

ご招待席数：10席
応募期間：2025年3月7日(金)正午～6月4日(水)正午
当選通知：締切後1週間以内をめぐりお知らせします。
応募方法：以下のURLを直接入力いただくか、
QRコードからお進みください。

<https://kiiohall.jp/kiioiraiseat>

※応募多数の場合は抽選となります。



日本製鉄
紀尾井ホール

公益財団法人 日本製鉄文化財団

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町6番5号 ☎03-5276-4500(代)
ホームページアドレス <https://kiiohall.jp>

●四ツ谷駅 赤坂口・麹町口(JR線・丸の内線・南北線)徒歩6分 ●麹町駅 2番出口(有楽町線)徒歩8分
●赤坂見附駅 D出口(銀座線・丸の内線)徒歩8分 ●永田町駅 7番出口(半蔵門線)徒歩8分

ある日、
すずは気がついた。
三井不動産は
街づくりにスポーツの
力を生かしている。
街は人が楽しく
健康に生きるための
フィールドなんだ、と。



三井のすずちゃん

さあ、街から未来をかえよう



三井不動産
MITSUI FUDOSAN